



校長だより

18号



呉市立両城小学校

児童数125名

〈学校教育目標〉 心豊かに 自立する

令和5年 12月21日(木)

文責 堀田 由美

明日で2学期が終わります。2学期は、修学旅行・野外活動・学習発表会・二川ロードレース大会という学校行事をはじめ、各学年でも社会見学や校外学習、出前授業等、充実した教育活動を行うことができました。子供たちも本当によくがんばりました。

いよいよ24日から冬休みになります。「冬休みのやくそく」をしっかりと確認して、規則正しい生活を送ることができるようにお願いします。また、冬休みは年末年始の社会的習慣にふれさせることができる特別な休みでもありますので、保護者の皆様も子供たちとしっかりとふれあってください。ご家庭でよいお年をお迎えください。



12月3日(日)には、二川ロードレース大会が行われました。当日は、何名か欠席もありましたが、子供たちは今までの練習の成果を発揮し、最後まで走り抜くことができました。試走では本校だけでしたが、当日は港町小と一緒に、刺激になったと思います。主催の西体協からは、ノートの参加賞をいただきました。

1年男子 1km

2位	北村 唯真	4分26秒
3位	森光 奏太	4分35秒
4位	高田 凌太郎	4分46秒
6位	伊藤 迅人	4分58秒

1年女子 1km

5位	恩塚 遥埜	5分15秒
6位	津間廣 凜花	5分16秒

2年男子 1km

2位	斎藤 旭希	4分40秒
6位	中野 鉄心	4分42秒

2年女子 1km

2位	三浦 心美	4分40秒
----	-------	-------

3年男子 1.5km

3位	伊藤 志恩	6分34秒
6位	松本 大知	6分57秒

3年女子 1.5km

3位	橋本 心杏	7分29秒
5位	中川 裕花子	7分52秒

4年男子 1.5km

2位	川平 颯士	6分27秒
5位	北村 実輝	6分56秒

4年女子 1.5km

1位	土村 紬	6分43秒
4位	吉川 優季	6分55秒

5年男子 2km

1位	清末 稜真	8分26秒
3位	吉井 龍之介	9分 9秒
4位	河本 智	9分17秒

5年女子 2km

3位	平原 こはる	9分20秒
6位	武藤 千夏	10分19秒

6年男子 2km

6位	北島 音和	9分21秒
----	-------	-------

6年女子 2km

1位	市川 佳穂	9分21秒
2位	小野 智尋	9分22秒
4位	面谷 花乃	9分51秒
6位	片岡 愛音	10分14秒



5年 心が苦しいときにどうするの？

6年 怒りをどうコントロールするの？



命を大切にする教育

5・6年生を対象に自他の命を大切にする教育（MLB 教育）に取り組みました。養護教諭と TT で授業を行い、怒りは悪い感情ではないこと、怒りを感じてもそれをコントロールすることが大事だということ、怒りをコントロールする方法、もやもやして心が苦しいことが続いたときどうしたらよいか等について、子供たちが意見を出し合い、交流しました。子供たちからは、気分転換をする・大人に相談する・6秒数える・好きなことをする・深呼吸をする等、いろいろな意見が出されました。解決方法は人それぞれです。大切なことは1人で悩まないで、周囲にいる人に相談してみることです。相談する人は、いろいろな方がよいのです。

これから冬休みになりますが、「冬休みのやくそく」にも各種相談窓口を載せています。子供の様子がおかしいと思ったら、話を聞いてみてください。そして、相談窓口に相談してみるよう声をかけてみてください。何かあれば遠慮なく学校に連絡してください。

ピアノ 井原安紗子さん オーボエ 高橋千絵さん クラリネット 森保由美子さん

11月27日には「洋楽鑑賞会」を3・4年生対象に実施しました。呉市音楽家協会から3人の演奏者の方に来ていただき、クラリネット・オーボエ・ピアノの生演奏を鑑賞しました。クラリネットとオーボエの特徴等、クイズを交えて分かりやすく教えていただきました。動画での演奏より実際の生演奏はやはり違います。演奏に聴き入っている子供たちでした。

いじめのいいところ認めみんななかよし集会

ランキンクイズ クイズラリー メッセージ交換

12月11日には、2学期のいじめ撲滅キャンペーンの一環として「いじめのいいところ認めみんななかよし集会」が行われました。天候不良により、計画していた「だんごむしおにごっこ」はできませんでしたが、「ランキンクイズ」「クイズラリー」「メッセージ交換」を全校で楽しみました。メッセージ交換では一人一人がメッセージをもらってとても嬉しそうでした。この「いじめのいいところ認めみんななかよし集会」はみんながいいところを見つけて関わるきっかけにすぎません。日々の生活の中で、子供たち同士で相手がいやな思いをする「ちくちく言葉」を言ったりする場面もありますが、その言葉の背景には「仲良く遊びたい」という思いがきっとあるはずです。この集会のときのように、みんなが相手のいいところを見つけ関わるようになれば、優しい気持ちになり、「ちくちく言葉」は減っていくのではないのでしょうか。